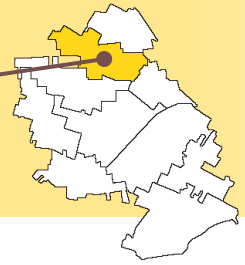


せんしょうじ

# 専勝寺

33世帯 4班

人口:100人(令和7年2月末現在)



## 集落の特徴

専勝寺地区が独立した村となったのは、室町時代末期である永禄元年（1588）から桃山時代の初め（1590）頃と伝えられており、名称の由来は以前集落にあった大寺院「専勝寺」の寺号が村名になったと越中志徴えっちゅうし ちようにも誌してあります。

昭和51年（1976）の圃場整備を期に墓浦地区と集落が統一されて現在にいたっており、昭和55年（1980）には専勝寺神明社と墓浦八幡社が合祀されています。毎年春秋の例祭や新嘗祭が行われている専勝寺神明社は、戦国時代に上杉謙信が戦勝祈願をしたと伝えられています。また、江戸時代には、加賀藩前田家の厚い庇護を受けたとのこと。

秋の例祭に奉納される獅子舞は南砺地方では珍しい二人獅子で、独特な舞であり、地区以外から毎年訪れるファンもいるなど、地区民の融和と絆作りに大きく貢献しています。村の中央を流れる六ヶ用水は早くから整備が進み市道、県道の整備も進み住みやすい地区になっています。

専勝寺村史より





- 役員の決め方
- 自治会費

### 役員役割・決め方・任期

役員名	役割	任期・決め方
自治会長	自治会及び神社運営	2年・自治会通常総会にて選考委員会設置の上選出
副会長	町内会長担当	2年・会長任命
庶務	生産組合長担当	2年・会長任命
会計	会計一般	2年・会長任命
委員（班長4名）	班の庶務一般	1年・各班にて選出
神明社責任役員	神社運営一般	4年・各班より1名ずつ選出
監事	監査一般	任期1年・2つの班より各1名ずつ選出 翌年は他の2班より選出

### 自治会の班分けと主な施設



### 自治会費

(単位：円/戸)

費用名	区分	金額	集金時期・方法
自治会費	自治会員	20,000円 (前期：10,000円、後期：10,000円)	前期：4月末日 後期：10月末日
	特別会員	20,000円 (前期：10,000円、後期：10,000円)	
	賛助会員	40,000円/法人 (前期：20,000円、後期：20,000円)	
町内会費		5,000円	4月末日
公民館維持費		6,000円	1月末日
公民館共済掛金		5,000円	1月末日

・新規入会金は、1戸あたり100,000円

- 年間の事業内容
- 各種団体の活動



ゆるいルール



慣例・習慣



守るべきルール

行事によってルールの確認が必要です。

年間の主な地域活動		備考
1月 1日	神明社 初詣	氏子 <sup>※注</sup> 全員
1月 5日	歳旦祭	神明社
1月 中旬	新年会	
2月 中旬	総報恩講	西岸寺
3月 中旬	西岸寺雪囲撤去作業協力	西岸寺
3月 20日	春季例祭	神明社境内清掃 全戸出役、祈年祭
3月 下旬	江浚い <sup>※注</sup>	全戸出役、二万石用水は当番班より1名出役
5月 下旬	神明社除草剤散布	当番班
6月 月上旬	神明社清掃	全戸出役
6月 中旬	夏越の大祓	神明社
6月 下旬	全体役員会	後期会務計画
7月 月上旬	井堰神社清掃	当番班より1名出役
7月 下旬	神明社除草剤散布	当番班
8月 月上旬	納涼大会	公民館
8月 月上旬	公民館大掃除	当番班
8月 月上旬	神明社清掃	全戸出役
8月 15日	盂蘭盆会	神社 氏子 <sup>※注</sup> 参拝
8月 下旬	地蔵祭り	西岸寺住職お勤め 墓浦・専勝寺
10月 中旬	神明社除草剤散布	当番班
11月 2日	秋季例祭 新嘗祭	神明社境内清掃 全戸出役
11月 下旬	西岸寺雪囲設営協力	西岸寺
12月 月上旬	公民館大掃除	当番班
12月 月上旬	年越の大祓	神明社
12月 下旬	自治会通常総会	

## 各種団体の活動

組織名	対象者 (年齢等)	活動内容
老人会 (弁財天会)	60歳以上	いきいきサロン等
壮年会	42歳以上	

※注 南砺市文化芸術アーカイブスは、南砺市に存在する文化芸術情報を一元化して紹介しているホームページです。市内の獅子舞についても詳しく載っています。



## 獅子舞

砺波地域では数少ない二人獅子（ねんごろ獅子）。獅子方は青年会員、獅子取は中学以下の男子。



写真：「南砺市文化芸術アーカイブス<sup>※注</sup>」より



- 集落の公民館
- 施設
- 神社
- お地蔵様
- お寺

### 専勝寺公民館・施設



専勝寺公民館（専勝寺 166 番地）



専勝寺自治会施設（専勝寺 168 番地）

### お地蔵様・お寺

#### 《場所》

専勝寺に2か所、旧墓浦地区（4班）に1か所あります。

#### 《地蔵祭》

例年は8月26日頃の夕方に西岸寺住職に読経いただきます。



専勝寺地蔵

墓浦地蔵



西岸寺（専勝寺 140 番地）

### 専勝寺神明社

#### 《役員》

神明社責任役員（4年任期）

決め方：自治会通常総会に際し選考委員会にて

#### 《祭神》

祭神 天照大神

配神 月夜見尊（前田家五代より配祀）

祭神 菅田別尊（墓浦八幡社祭神合祀）

#### 《いわれ》

神職河合家所蔵の神社改書上帳（法厳寺より報告）によると延宝4年（1676）8月19日に創建とあり、明治4年（1871）には神明社となり孫社に列しました。

さらに歴史を辿ると和同2年（709）及び延暦18年（799）に勅使奉幣、永禄年間（1558-69）には武将上杉謙信が戦勝祈願しています。その後、加賀藩前田家の厚い帰依により月夜見尊配祀されました。文政11年（1828）には茅葺の入母屋社殿造営。昭和36年（1961）には樹齢780余年の杉などを皆伐して社殿が新築造営されました。

また、世紀の偉業である圃場整備に伴い、昭和51年8月1日に墓浦の字名も専勝寺に統一。昭和55年（1980）11月には墓浦八幡社を合祀「一村一宮」氏子の諸人久しく待望の遷座式と慶賀祭が斎行されました。

…合祀25周年記念碑より



専勝寺神明社（専勝寺 167 番地）